

2025年2月14日

投資家の皆様へ

2024年12月期決算に関するCEOメッセージ

代表取締役社長 兼 Group CEO 勝木敦志

本日12:00に開示いたしました2024年12月期決算および「主要指標のガイドラインおよび財務方針の更新」につきまして、投資家向け説明会が2月17日と先の開催となるため、開示事項の主なポイントについて事前にメッセージを発信させていただきます。

◆2024年12月期決算

2024年の事業利益（為替一定）は、厳しい事業環境が継続したオセアニア事業は計画を下回り、前年比8.2%の減益となりましたが、日本事業が+12.9%、欧州事業が+11.1%と計画を上回る増益となり、トータルでは計画を若干下回る前年比3.7%の増益となりました。

グループ全体で、適切な価格戦略やプレミアム化を推進したことに加え、AGPROによる調達ベネフィットの創出や各地域のコスト効率化が結果に繋がりました。

◆2025年12月期決算予想

2025年の事業利益予想（為替一定）は、欧州事業がプレミアム化などにより前年比6.5%の増益を見込むものの、オセアニア事業は+1.4%と回復を慎重に見ており、また、日本事業は人材などの成長投資や、価格改定による需要減に備えていることなどにより+2.3%として、トータルでは前年比3.2%の増益を見込んでいます。但し、各RHQの一層のミックス改善や収益構造改革の促進により、この水準を下限値として更なる上乗せを目指します。

また、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、前年の固定資産売却益の反動や金融収支の悪化などにより、前年比7.6%の減益を見込んでおりますが、事業利益と同様に更なる上乗せを目指してまいります。

◆主要指標のガイドラインおよび財務方針の更新

今後の主要指標のガイドラインは、収益性の指標では、利益成長と資本政策が反映されるEPSのCAGRに一本化し、2030年までの「一桁台後半から二桁」をコミットします。また株価のバリュエーション改善には、資本効率の向上が急務であり、ROEとROICを主要指標に追加し、2030年までにROEは11%以上、ROICは10%以上を目指します。

財務方針としては、引き続き成長投資を優先しますが、資本効率の向上や株主還元の充実（DOE4%以上を目指した累進配当+機動的な自己株式の取得）にも資本を配分することで、企業価値の向上を図ります。自己株式については、2020年のCUB買収時に実施した公募増資の株数（約15,000万株）をできる限り早期に買い戻し、中長期的にご支援頂いている株主様にも報いてまいりたいと思います。

当社は、規律を伴う成長投資により、事業ポートフォリオの強靱化やコア戦略を力強く推進すると共に、資本効率の向上と資本コストの低減に取り組むことで、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指していきます。

引き続き、末永いご支援をよろしくお願い申し上げます。

決算および開示事項の詳細は、下記のリンクでご確認ください。

URL https://www.asahigroup-holdings.com/ir/library/financial_summary/

以上